

会員の皆様へ

日本周産期・新生児医学会 渉外委員会委員長
FAOPS2020 TOKYO 招致委員長
慶應義塾大学医学部 産婦人科 田中 守

FAOPS2020 招致決定のお知らせ

2016年12月2日金曜日16時から開催されたFAOPS2016台北大会のGeneral Assemblyにおいて、日本、スリランカ、マレーシア、インドネシア、インド(最終的に立候補取り下げ)の5カ国のプレゼンテーションおよびFAOPS参加国の投票が行われ、総計35票中24票の過半数を得て、東京招致が決定いたしました。

日本周産期・新生児医学会の皆様におきましては、2020年のFAOPS東京大会誘致へ向け、大変心強いご支援をいただいたことを心より感謝いたしております。FAOPS2016台北大会にも、第61回日本新生児成育医学会学術集会と同時開催という悪条件の中、150名以上の日本からの参加者を頂き、誠にありがとうございました。今回の総会にも多くの学会関係者の皆様に直接来場いただき、ご声援を頂けたことが何よりの誘致成功の後押しになったと思います。

和田理事長とも相談し、FAOPS2020Tokyoの成功へ向けて、学会本体の国際化を図っていきたいと思っています。今後とも会員の皆様方のご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

頓首